

会 議 録

会議名	第2回丸亀市総合計画審議会
開催日時	平成17年11月25日(金) 午前10時~午前11時45分
開催場所	丸亀市役所 本館2階 第3会議室
出席者	<p>出席委員</p> <p>青竹 憲二 秋澤 桂子 鵜川 覚 尾崎 真悟 加藤 正員 川邊 昭生 篠塚 智枝子 高橋 等 馬場 慶子 広田 穰 細川 滋 細谷 達則 宮本 喜美代 宮脇 昭 村田 哲康 山下 世為志</p> <p>欠席委員</p> <p>影山 篤弘 滝上 清司 田多 篤子 橘 節哉</p> <p>説明のため出席した者</p> <p>企画財政部長 中島 弘二 企画財政部企画課長 山岡 義國 企画課 新市建設室長 横山 孝信 企画課副課長 大喜多 章親</p>
議事	<p>(1) アンケート調査の結果等について</p> <p style="padding-left: 40px;">総合計画策定に係るアンケート調査結果について</p> <p style="padding-left: 40px;">まちづくり懇談会市民意見まとめについて</p> <p style="padding-left: 40px;">まちづくりワークショップのまとめについて</p> <p>(2) 基本構想の考え方について</p>
傍聴者	なし
議事の進行及び発言要旨	
会長：	<p>今回で2回目と言う事で、これまでの中身のまとめや、基本的な考え方が中心となると思うがご審議をよろしくお願いいたしたい。</p>
事務局(大喜多)：	<p>資料1 「総合計画策定に係るアンケート調査結果について」</p> <p>資料2 「まちづくり懇談会市民意見まとめについて」</p> <p>資料3 「まちづくりワークショップのまとめについて」 を説明 ワークショップのまとめは市民の方の言葉でそのまま載せている。</p>

会長：	説明に対して、何かあればお願いしたい。
加藤委員：	<p>若者の定住についての視点が欠けている。ワークショップなどへの若者の参加がされておらず、直接的な意見反映の場が用意されていない。若者が丸亀に住むそのための施策としての雇用・子育て支援・住宅等をまちづくりの方法として真剣に考える必要がある。第2に婆娑羅まつりだが、若者への支援が必要と思う。練習や人集めなど参加のできる支援を考えていただきたい。住んでいて精神的に豊かに思える実感が無いので、実感できるまちにしてほしい。</p> <p>もう一つは団塊の世代の方たちの経験や能力、エネルギーをもっと地域に生かすべきだと考える。</p>
会長：	他に意見はないか。
川邊委員：	<p>ワークショップに参加したが、産業振興への意見があまり出しておらず、市・行政に雇用対策のためのセクションがあまり無いように感じた。国の機関でやることのように思っていないと思う。重要度が高い割には市独自の対策が我々に見えてこないの、今後のあり方として考えなくてはならない。雇用対策を進めるのであれば、産業振興に力を要し雇用を増やすようにしていかないと、雇用対策にはならないと思う。</p> <p>住民意識にもかなりの格差があり、丸亀は仕事、綾歌・飯山は農業振興が中心になっているので、早く一本化していく必要がある。その中で産業振興、自然環境、都市計画等を盛込んでいかないといけないと思う。</p>
会長：	雇用対策はアンケートなどにもでていたが、他に意見はあるか。
鵜川委員：	<p>丸亀市の人口は11万人と聞いているが、約1割の1万人の方たちが農業にかかわっており、その農業とどうかかわっていくのか。旧丸亀市は仲多度地区、旧綾歌、飯山は綾坂地区となっているのでエリアが別になってしまっている。早急に丸亀市が一体化できるように対応していただきたい。</p> <p>アンケートを見ても自然が豊富となっている。しかし、その中に農業の果たす役割はかなりあるのではないかと思う。農業は今大きく転換しなくてはならない状況になりつつある。一つは大麥だと9,000円だったものが関税引き下げにより3,000円程度になり19年度からは、今までは作れば出ていた補助金も、担い手がいなくては出なくなることで生産地崩壊の恐</p>

	<p>れがある。行政としても柔軟な対応をし、将来への位置づけをしていただきたい。</p>
<p>会長：</p>	<p>その他質問等を含め何かないか。無いようであれば(2)の説明を願う。</p>
<p>事務局(大喜多)：</p>	<p>資料4 「基本構想の考え方について」 を説明 短い言葉になっているが、ここに掲載しているのはアンケート、まちづくり懇談会やワークショップに参加された方たちの意見をまとめたキーワードで、委員の立場から意見をいただきたいと考えている。行政の方でも市民の意見を踏まえ、次回には基本構想の姿をお示しできればと思っている。よろしく願いしたい。</p>
<p>会長：</p>	<p>事務局から説明があったが、この他のキーワードもあると思うし、基本の柱は7つとなっているが、この数についても検討対象となる。いかがか。</p>
<p>川邊委員：</p>	<p>基本構想の基本的な考え方は、自治基本条例、行財政改革、総合計画の3点セットであるとワークショップの中でも言ってきた。その施策がどのような位置にあるのか。個別計画では何かと違ってくると思うので、位置づけをはっきりさせてほしい。それと財務の視点は欠かせないと思う。このままでは財政再建団体に落ち込んでしまうのではないか。また、シビルミニマムの観点から総合計画を立てないといけない。今までのように市民が要望するから全部実行するというような型にはならないと思う。その辺の基本的な考えをpushしておく必要がある。</p>
<p>事務局(大喜多)：</p>	<p>自治基本条例と総合計画の関係についてのことだと思うが、総合計画は地方自治法の規定に基づき策定する。それと、財政的に厳しい中で実行性ある計画が進められるかと言った質問であるが、このような財政状況の中でも進行管理を行い実行性のある計画としたい。また、必要などころに必要なだけ配分できるよう、今の時代に合った計画としていきたいのでよろしく願いしたい。</p>
<p>尾崎委員：</p>	<p>活性化や戦略的な行財政運営など上手な言い方をしているが、そこに至るまでの経緯なりが、市民アンケートや市民レベルの内容で、あまりにも身近でありふれた平凡な内容ばかりになっている。最初に市の問題点として、個性、特色が無いことの解決策が表れていない。ここから先</p>

<p>事務局（大喜多）：</p>	<p>の発展段階で活性化や戦略的な行財政運営でもっと中身に学識経験者などの専門知識を取り入れ雇用対策、産業振興など商店街だけでなく先端産業でプロレベルの内容を取入れ市の収入が上がる施策を検討してほしい。</p> <p>もう一つ、どこにも出てきていないが、競艇事業の位置づけは基本構想の中には盛り込まないのか。財源として重要な問題で、収入を増やせる手段を内容として盛り込むことはできないのか。</p> <p>基本計画を示した段階で意見を反映していきたいと思っている。競艇事業についても基本計画に入れている団体があるので、検討したいと考えている。</p> <p>本日の資料にはキーワードということで「協働」といった言葉があるが、それ以外にも「少子化」などの政策課題についても、検討していかなくてはならないと考えている。</p>
<p>山下委員：</p>	<p>色々な取組のアンケート調査とか、ワークショップの取組の意見を集約してキーワードやまとめがなされているが、これだけで進めるものではないと思う。もう少し大切なことがあると思う。この先世界がどのように変化していくかを考えないといけない。特に高齢化というのが大きなポイントになってくると思う。高齢化によって環境のあり方、交通のあり方も大きく変えて行かなくてはならないと思うし、高齢化かつ世界のIT化も含んだキーワードで、基本構想を考えていく必要があると思う。今日示されたものは、現状の分析が抜けていると思う。例えば、丸亀市の人口の構成が10年後はどのようになって、20年後にはどのようになってとか、考えられる資料が欲しいのだが。</p>
<p>会長：</p>	<p>今回は市民の意見を中心としたのでこのような形になったと思うが。</p>
<p>事務局（大喜多）：</p>	<p>現在、分析を進めている最中なので、次回には示せると思う。</p>
<p>川邊委員：</p>	<p>資料4にもあるが、まちづくりにはコミュニティの役割、あり方が大切だと思うのだが。丸亀では校区ごとで活動しているが、飯山、綾歌では婦人会、老人会が中心となって活動し、どのようなコミュニティづくりをしたらよいのか意見が交錯している状況だと思う。今後あり方を整理し行政指導が必要と思うが。</p>

細谷委員：	<p>私たちコミュニティとしては、自分でできることは自分たちの手でやる。例えば、防犯・防災・環境美化などを率先して行い市民相互の交流ができればと思う。飯山、綾歌のコミュニティから丸亀へ見学に来られて勉強されている。活性化を具体的に機能させる原稿を作成していただきたい。もう一つは産業振興だが、丸亀城を中心とした観光開発をどのように考えておられるのか。観光バスが来たときにトイレがどこにあるのか分からないなど、不便な点がたくさんあるので考えていただきたい。</p>
加藤委員：	<p>岡田でコミュニティの役員をしているが、合併に伴い上から作りなさいといった経緯で、コミュニティと言った言葉も分からない状況で試行錯誤だった。それぞれの地域の課題を考えているんなバリエーションがあっていい訳で、ある意味今からだと思っている。綾歌では小学校校区で設立したが、果たしてそれで良かったのか。今までも旧町単位での取組があったわけで、それをもう一回逆戻りしたような感じを受け取られている方もいる中で、あるべき姿を探っている。それとキーワードのことだがもう一度現状分析した上で考えた方がいいのではないかと。メリハリと個性といった意味では何を目指したらまちづくりになるのか一つ一つ出せないのか、それに合わせて丸亀らしいキーワードとは何なのか考えた方がいいのでは。市民一般がもっと分かりやすい言葉でしなくてはいけないと思う。</p>
会長：	<p>今考えられることは何なのか、今日のところはいいのではないかとと思う。固定化されることなく、将来的な発展を念頭に置いておくことが大切だと思う。</p>
村田委員：	<p>現状分析をどのように客観的にしていくのか避けて通れない作業だと思う。事務局は今、その分析をおこなっていると言ったが、どのような内容なのか。</p>
事務局（大喜多）：	<p>人口や産業など、国勢調査を基本とした分析である。</p>
村田委員：	<p>そのことも重要なことだが、丸亀市が誕生していくプロセスには丸亀、飯山、綾歌それぞれの実態があり、福祉なり実施計画など取り組まれてきた経緯がある。今回のアンケート調査、まちづくり懇談会、ワークショップなどで市民の意見を聞いたことは意義深いことだが、一方で行政並びに関係機関を中心とした専門領域の具体的な計画、政策に基づいた</p>

	<p>取組がなされていくことが重要と考える。ちゃんとした評価をし、現状、問題点、課題点は何なのか、丸亀、飯山、綾歌共通項もあるだろうが、それぞれ違うと思う。突合せをして早急に内容を検討し総合計画に落とししていく。その中でキーワードが出てくるものだと思う。キーワードが先に出るのはおかしいと思う。</p>
会長：	<p>合併協議会の中でも基本的なデータは出していたはずである。</p>
事務局（大喜多）：	<p>次回までに現状分析してデータを出したいと思っている。</p>
会長：	<p>新市になっての構想はご存知のはずなので、各委員会、審議会での資料や審議内容をつき合せていかななくてはならないと思う。他に検討しなくてはならないと思うことはあるか。</p>
青竹委員：	<p>新市建設特別委員会、行財政改革特別委員会のこの二つが今回新しく特別委員会として設けられた。厳しいのは行政だけでなく民間も同じで、後4～5年すると我々団塊の世代になる。そのような状況も合わせて考えていかななくてはならないが、夢も総合計画、審議計画の中に入れていかななくてはいけないと思う。もう一つ、丸亀城をどう活かしていくのか、皆さんの知恵を活かしていかなくてはならない。</p>
会長：	<p>議論の流れから行くと、現状分析が急務ということとなる。今日のところはこれぐらいにして、次回の開催日程はいつ頃がよいか。</p>
事務局（大喜多）：	<p>年末か年明けぐらいに次回の日程を調整したい。</p>
会長：	<p>皆さんの意見により、1月12日（木）午前10:00とする。 事務局より何かあるか。</p>
事務局（大喜多）：	<p>審議会は公開になっており、前回委員のご意見もあったので、会議録をホームページに掲載するのでよろしく願いいたしたい。</p>
会長：	<p>これにて第2回丸亀市総合計画審議会を終わらせていただく。</p>